

【年表】印刷と新聞の歴史

西暦年	現在の国	
105	中国	後漢の蔡倫が、製紙法を改良し実用化
7世紀末	中国	板に文字を彫って版を作る木版印刷が始まる
764~770	日本	「百万塔陀羅尼經」の印刷。現存し、制作年が特定できる印刷物で世界最古
9世紀	中国	出来事を随筆にした文書「南楚新聞」。「新聞」という言葉の初出
12世紀	中国	宋で粘土活字が使われる
13世紀	欧州	マルコ・ポーロの「東方見聞録」に、中国では紙幣が印刷されているとの記述
1420	韓国	李氏朝鮮で金属活字が作られる
1450	ドイツ	グーテンベルクが金属活字、油性インク、印刷機を使った活版印刷を実用化
1502	ドイツ	1枚刷りの「ノイエ・ツァイトゥング」発刊。新聞の源流
1590	日本	長崎県島原で、宣教師が、欧州から持ち込んだ活字で布教書を印刷。日本初の活版印刷
1593	日本	李氏朝鮮の銅活字を、豊臣秀吉が天皇に献上
1606	日本	徳川家康が、李朝活字を参考に日本初の銅活字を鋳造
1650	ドイツ	世界初の日刊紙「アインコメンデ・ツァイトゥンゲン」創刊。
17世紀	日本	木版による片面刷りで辻売りされる印刷物が登場、「読売」と呼ばれる
1702	英国	英国初の日刊紙「デイリー・クーラント」創刊
1785	英国	高級紙「デイリー・ユニバーサル・レジスター（後のタイムズ）」創刊
19世紀	日本	「かわら版」という呼び名が定着
1812	英国	「タイムズ」が蒸気動力印刷機を初めて導入
1826	フランス	高級紙「フィガロ」創刊
1835	アメリカ	大衆紙「ヘラルド」創刊。1¢の安価な新聞（ペニーペーパー）創刊相次ぐ
1846	英国	輪転機（円筒形の版が回転する方式）の実用化。大量高速印刷へ
1848	日本	長崎通詞・本木昌造、オランダ船が積んでいた活字と活版印刷機を購入
1851	アメリカ	高級紙「ニューヨーク・タイムズ」創刊
1853	日本	ペリー浦賀来航。翌年の日米和親条約で下田、箱館開港
1859	日本	長崎、横浜で貿易が始まる
1861	日本	長崎で「ザ・ナガサキ・ SHIPPING・リスト・アンド・アドバタイザー」発刊。日本初の新聞（英字）
1862	日本	幕府が「官板バタビア新聞」発刊。日本初の日本語の新聞
1870	日本	日本初の日刊紙「横浜毎日新聞」創刊
1872	日本	「東京日日新聞（後の毎日新聞）」創刊。現在の全国紙で初
1875	日本	東京日日新聞が宅配（月70銭）を開始。1部売り3銭
1890	日本	東京朝日新聞（後の朝日新聞）が日本で初めて輪転機を稼働。フランスから輸入した
1909	日本	新聞紙法が施行され、言論統制強まる
1915	日本	「大阪毎日新聞（後の毎日新聞）」などが、夕刊発行開始
1947	日本	「言論・出版の自由」を明記した新憲法施行
1954	アメリカ	オフセット輪転機の実用化。現在の新聞印刷の主流に
1967	日本	写真植字の導入
1972	日本	活字を全く使わないコンピューターによる新聞編集と組版の実用化
1995	日本	主要新聞社が、インターネット上にニュースサイトを開設